

経産省新計画案でも原子力22%の稼働目標

第5次エネルギー基本計画パブリックコメント募集中

経産省は5月18日から6月17日の1か月間「第5次エネルギー基本計画(案)」に対するパブリックコメントを募集しています。第5次計画案の基本は「原子力22%稼働」目標で、「ベースロード電源」という言葉が消えただけです。代わりに再生可能エネルギーを「主力電源化」と記していますが、再生可能エネルギーの目標(24%)値も変わっていません。

地球温暖化問題について「温室効果ガス削減急務」と記しながら、一方で、「化石燃料の効率的・安定的利用」を謳っています。さらに「水素社会の実現」こそ化石燃料からの脱却の道と強調し、「東京オリンピックでの水素社会ショーケース化」実現を目指しています。

水素社会は実現しない

4月のきらきら発電定期総会で記念講演した橋本功二東北大学名誉教授は「水素電池自動車の電極に白金が使われるが、最大限利用しても世界の自動車の1%にもならない」と、水素社会の実現は困難であることを明らかにしました。

14年5月までの認定で目標クリア

一方再生可能エネルギーについて、メルマガ「スマートジャパン」は資源エネルギー庁が2014年5月までに認定した分だけで電源の20%に達し、24%の目標は楽々クリアできると指摘しています。日経BP研究所は2040年までに世界各国で再エネが最大の電源になると予想し、日本では太陽光が12%を越え、経産省の目標を大きく越えるとしています。

東北電力販売電力量4年連続減

東北電力の宮城県内の電力販売量は、2017年前年比4.3%減の129億kwhで、4年連続で前年を下回った。過去10年間では東日本大震災の影響を受けた2011年度(126億kwh)に次ぐ2番目に低い水準。新電力の切り替えに伴う契約の減少などが響いた。

店舗・工場などの業務向けが4年連続の下落で、家庭向けは前年比0.5%減で、2年ぶりに下回った。(河北新報より転載)

送電網問題で有識者会議

経産省は5月17日「再生可能エネルギー導入拡大策を話し合う有識者検討会」を開催し、送配電網の利用ルールの整備など、今後必要となる政策課題を検討した。既存の送配電網を柔軟に運用する「日本版コネク&マネージ」を推進し、再エネ業者の参入をしやすくするとした。(河北)

経産省が東北電に勧告

送電線接続で東北電過大請求

経産省電力ガス取引監視委員会は5月16日、送電線への接続希望事業者が負担する設備工事費の精算を誤り過大請求していたとし、東北電力に業務改善勧告を行った。過大請求は15年から17年度114件8362万円に上り、14年度以前も調査中。対象者への返金を行うとともに、再発防止策を報告するよう求めた。

17年8月に事業者から問い合わせがあったが、対応に時間がかかり、法令違反行為が続いたとして、「経営管理体制に改善の必要がある」と指摘した。(河北)

山形県金山町の雪室・バイオマスを見学



5月26日～27日きらきら発電では山形県金山町のホテルシェーネスハイム金山で運用している夏季冷房用の雪室と温泉用のバイオマス給湯の見学を行いました。あわせて昨年山形県が作った神室ダム小水力発電所も見学しました。山形県政は再生可能エネルギーの促進に力を入れています。

男たちの夢を追う「雪室NPO」立ち上げに地元議長も

金山町はきらきら発電理事長水戸部秀利氏の故郷。そこで「雪室と太陽光」を利用した民家を作るという団塊世代の男たちの計画が持ち上がり、地元町議会議長や行政書士・大工さんなどが集まり、既に「雪室」実験を始めています。民家の玄関に2立方メートルの木造りの室を作り、5月初めに雪を詰め込みました。1か月たってもまだ8割ほどの雪が残り、夏まで持つのではという期待も上がっています。金山町の雪室に関心のある方は、きらきら事務局にご一報を。

またホテルシェーネスハイム金山を利用したい方は、電話 0233-52-7761 へ。

医労連女性部で水戸部氏講演



5月26日(土)医労連東北地方協主催の女性部学習会が宮城県鳴子温泉で開催され、きらきら発電水戸部秀利理事長が記念講演「いのちにやさしい未来をめざして」を行いました。東北各地から集まった70名を超える参加者の前で、水戸部氏は日頃の診療活動から得

られた知識をもとに、「被ばくの恐ろしさ」と「大気汚染の怖さ」を強調。被ばくも大気汚染も地球温暖化ももたらさない「再生可能エネルギー」と「疾病の社会性を見つめた民医連医療の実践」で「いのちにやさしい未来をめざそう」と語りかけました。

塩釜から参加された女性が「あゆみ保育園の屋根に載せているのを知りませんでした。今後あらたな取り組みがあれば、是非協力したい」と発言。太陽光パネルの寿命と再利用についての質問も出ました。参加者たちは温泉で1泊、学習と交流を深めました。



井土浜で草刈

晴天に恵まれた5月22日、きらきら発電1号機の井土浜発電所の草刈りを実施。温暖化の影響か、昨年同期と比べても草の生え方はすさまじいばかり。勇士6名が2時間草刈し見事一面きれいに整地しました。

きらきら発電市民共同発電所ニュース

2018年6月号

〒981-3215

仙台市泉区北中山3丁目17-12、広幡方

電話・FAX 022(379)3777

ホームページ kirakirahatuden.com/

Eメール kirakirahatuden@outlook.jp

